

# 一般社団法人全日本学生柔道連盟だより

第29号

2025年3月1日発行

編集・発行 総務委員会

## 5期目の会長就任にあたって

**冲永 佳史**

去る6月21日の行われた理事会の決議により、全日本学生柔道連盟の会長を拝命し、2024年度及び2025年度の運営の指揮をとることとなりました。改めて身の引き締まる思いとともに、全日本学生柔道連盟の各事業を適切に遂行できるよう、各地区から選出された理事、そして会長指名理事の方々のご意見と、各専門委員会での議論を交えながらその任務を全うして参りたいと思っております。

全日本学生柔道連盟の根本的な役割を今一度考えますと、学生が次世代を担う人材として成長する場を、柔道を通じて提供することと言えます。それを愚直に探究し行動を起こす事が、国際的な観点から日本柔道をより強固なものにするとともに、社会をより豊かにする人材を広く輩出することに繋がるものと捉えます。

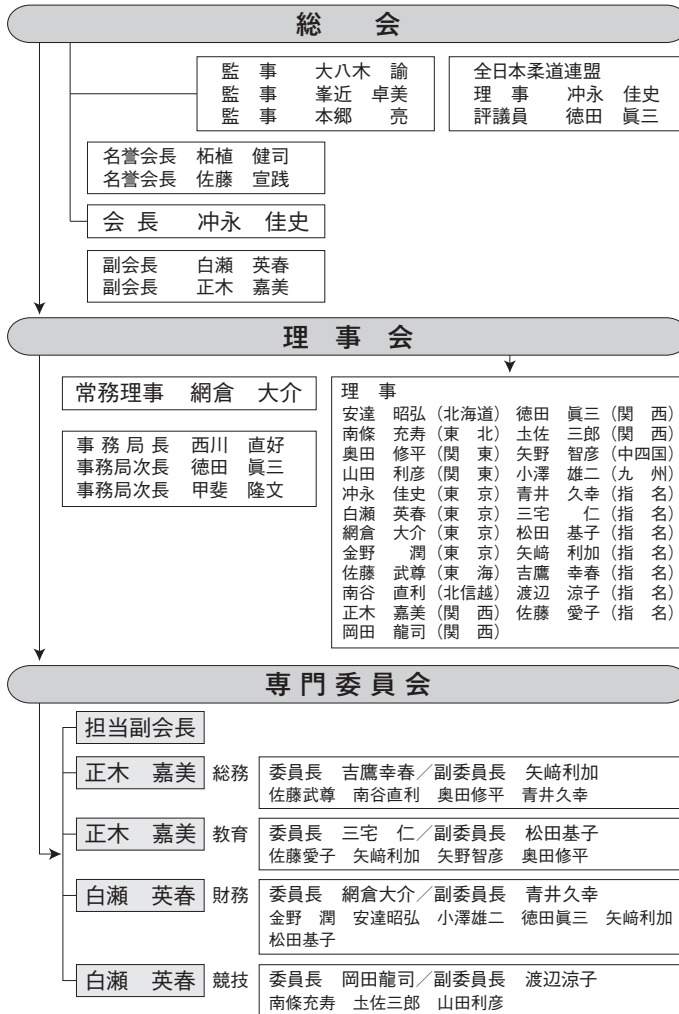
このことを具現化するための柔道環境を作る上では、多様な仕組みを整える必要がありますが、全日本学生柔道連盟においては特に、全国大会の運営のみならず、指導者研修事業、国際交流事業、男女共同参画活動、柔道普及事業、柔道の教育的側面に於ける有用さを広めることなどに力を入れることが肝要であると考えております。

特に、新型コロナウイルス禍を経て日常を取り戻した現在であるからこそ、国際交流を積極的に行うことや、普及事業としての柔道大会を新設及び支援を行うこと、柔道の伝統をより分かりやすく表現する媒体として「形」の面白さを理解していただく活動を展開すること、これらが既存の3つの全国大会の運営と並んで、中長期的な事業計画の中で重要な位置を占めることとなります。また、全日本柔道連盟を筆頭に、各柔道団体と協働して、申し上げたような事業を遂行することにも、一層心を配らねばならないこととなります。

これらを通じて、指導者も学生も、「精力善用」・「自他共栄」の考えを正しく捉え、仲間とともに適切に考え行動に移すことを是とし、より多くの競技力のある柔道家、人材育成をできる柔道家、そしてグローバルな視点に於いて共生社会で活躍できる柔道家の輩出に繋げることができるのであります。

いずれの事業も、皆様方のご理解とご協力なしには進めることができません。引き続きのご厚情を衷心よりお願い申し上げます。会長就任のご挨拶に代えさせていただきます。

## 一般社団法人 全日本学生柔道連盟組織図(2023-2024)



### 理事の職務分担

総務委員会	(1)定款及び細則ならびに各種規定に関すること (2)年間計画の策定に関すること (3)日程の調整に関すること (4)会報及び出版物の刊行に関すること (5)助成及び顕彰に関すること (6)正会員に関すること (7)他団体との折衝に関すること (8)その他、各委員会の所管に属さないこと等
教育委員会	(1)研修会、講習会、教養講座など教育事業に関すること (2)国際交流に関すること (3)医学に関すること等
財務・広報委員会	(1)資産及び会計に関すること (2)会費の徴収、財源の確保に関すること (3)賛助会員の拡大に関すること (4)競技会の協賛に関すること等 (5)本連盟等の広報に関すること
競技委員会	(1)競技に関すること (2)審判員に関すること (3)競技力向上に関すること (4)国際競技会等への代表選手選考に関すること等

### 正会員数(地区学生柔道連盟別・2024年12月1日現在)

北海道	東北	関東	東京	東海	北信越	関西	中国四国	九州	合計
14	17	39	49	23	14	47	29	26	258

## 【北海道】

2023年度、当連盟の加盟状況は加盟14校、部員数204名で、前年度より19名の減少でした。本年度は帯広畜産大学の新規加盟がありましたが、東海大学札幌校から脱会の打診があり、加盟校は14校で部員数は217名(男子：189名、女子：28名)です。特筆すべきこととして、2024年4月30日付で、北海道学生柔道連盟創立70周年記念誌『北海道学生柔道連盟の未来に向けて』(写真1)が完成し、関係の所団体、関係の皆様様に配布ができました。コロナ禍で発刊が、遅れておりましたが、完成にこぎつけ編集委員一同、安堵しているところです。次号の100周年記念誌に向け、再度編集委員が集まり、“すすきの”にて会合が開かれました。

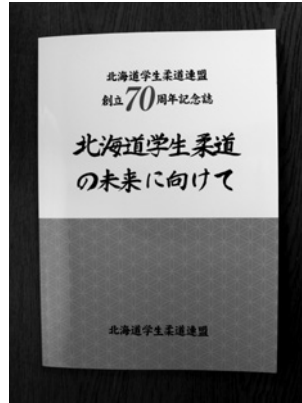


写真1

当連盟では、2024年度の主催の大会として、下記の5つの大会を予定しています。5月18日に全国大会の予選を兼ねて北海道学生柔道優勝大会、同じく全国大会の予選を兼ねて8月24日に北海道学生柔道体重別選手権大会、翌25日に北海道学生柔道体重別団体優勝大会、そして11月23日に北海道学生柔道新人大大会と北海道学生女子柔道階級別選手権大会です。

2024年度の役員(敬称略)は以下の通りです。

会 長	岩崎 満			
副 会 長	安宅 一夫	小山 尋明		
理 事 長	安達 昭弘			
副理事長	岩井 眞	十倉 宏	森 洋一	
	松浦 英幸(事務局長)			
常任理事	熊澤 幹二	三嶋 康嗣	阿部 眞久	
	今井 克俊	大内 基樹		
監 事	坂井 俊文			
事務局長	松浦 英幸			

北海道学生柔道連盟 事務局長 松浦 英幸

## 【東北】

### 1. 役員の変更

2024年度は、改選時期ではなかったため、大きな異動はなく、豊嶋良一会長、南條充寿理事長のもとで順調に事業運営を行っている。

#### 2024年度役員

名誉会長	遠藤 純男・元会長
顧 問	佐々木武人・元会長
顧 問	高橋富士男・前会長
会 長	豊嶋 良一・東北学院大学
副 会 長	佐々木安廣・富士大学
副 会 長	三戸 範之・秋田大学
副 会 長	高橋 俊哉・弘前大学
理 事 長	南條 充寿・仙台大学
副理事長	大関 貴久・東日本国際大学
副理事長	阿部 文智・東北学院大学
監 事	及川 大道・東北大学
監 事	盛 広・青森中央学院大学
事務局長	佐藤 佳祐・東日本国際大学
次長	三浦 友和・東北福祉大学
学生委員長	大森 琉真・東日本国際大学

(\*~新)

### 2. 東北学連の事業運営

2023年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行となったが、その中でも油断することなく十分に注意を払い、計画している事業をすべて無事に開催することができた。

今後開催される2024年度の東北学生柔道体重別大会に向けて、豊嶋会長をはじめ、南條理事長、阿部副理事長、事務局が一体となり準備を進めていく所存である。

### 3. 今後について

本連盟の各会議は、すべてwebによる会議を継続しているが、離れた場所であっても活発な議論をすることができ、今後の会議においても多いに活用していきたい。

東北学生柔道連盟 事務局長 佐藤 佳祐(東日本国際大学)



## 【関東】

### ○2024年度に向けて

本年3月に行われた2023年度関東学生柔道連盟総会において、役員改選が行われ、吉鷹幸春先生を会長とした2期目の体制が整えられた。

会長：吉鷹幸春(桐蔭横浜大学)

副会長：中村一成(防衛大学校)

高橋 進(関東学園大学)

越野忠則(国際武道大学)

理事長：山田利彦(SBC東京医療大学)

副理事長：三宅 仁(平成国際大学)

理事：木村昌彦(横浜国立大学)

岩崎 卓(流通経済大学)

岡田弘隆(筑波大学)

矢崎利加(国際武道大学)

廣川充志(桐蔭横浜大学)

市川邦臣(城西大学)

野瀬英豪(淑徳大学)

増地克之(筑波大学)

小野卓志(帝京平成大学)

西田泰悟(山梨学院大学)

監事：石井兼輔(国際武道大学)

小山勝弘(山梨学院大学)

事務局長：奥田修平(清和大学)

事務局次長：今井 学(千葉工業大学)

川原久乃(新：平成国際大学)

内田 暁(新：帝京平成大学)

本連盟の更なる発展のためにご尽力いただきたい。

さて2024年度の主な事業計画は、5月26日関東学生柔道優勝大会(男子71回、女子30回)、8月24、25日関東学生柔道体重別選手権大会(男子63回、女子37回)の競技会の開催、年2回の審判講習会(オンライン)の開催及び海外研修の実施である。

ここ数年、本連盟独自の海外研修の実施ができていない。学生にとって諸外国で柔道の試合・稽古をすることは大変貴重な経験と言える。実現に向けて、体制を整えていく必要がある。

また、国際大会等で本連盟所属の学生が活躍していることは大変喜ばしいことである。中でも、2024年アブダビ世界選手権大会において筑波大学出身の田中龍馬選手(SBC湘南美容クリニック)が見事、初の世界チャンピオンに輝いた。

いよいよ8月、パリ五輪が開催される。本連盟出身の選手も2名出場が決定している。日本選手団の活躍を大いに期待しつつ、学生柔道も大いに盛り上げていきたい。

関東学生柔道連盟 事務局長 奥田 修平

## 【東京】

### 2024年度を振り返って ～新たなスタート 白瀬会長5期目～

本年度の連盟諸事業は、概ね予定通り実施されました。2020年より猛威を振るったコロナ禍も収束しましたが、連盟を取り巻く環境は、諸物価高騰等もあり事業展開には、確かな財源確保が喫緊の課題となっております。これまでの主催大会事業はもとより、主管事業(全国大会)においても、白勢会長5期目となり、新たに役員構成を拡充し連盟運営を行うこととなりました。社会問題でもある少子化により、加盟校数や登録者数は減少傾向が続いております。本連盟としても、これまでオープン大会の開催等、学生柔道の普及に努めてまいりましたが、この機を捉え、さらなる普及策を講じていく必要性から、現在、専門委員会において活発な協議を進めております。これからも加盟校との連携を一層深め、役員一丸となって、この厳しい環境を乗り越えて参ります。今後とも関係各位のご協力を賜りますようお願いいたします。

#### (組織運営)

連盟運営の方向性を示す「運営ガイドライン」をバージョンアップし、将来的な視点での自主財源ベースの運営を目標におきます。より安全な諸事業の実施を目指してまいります。また、全国大会主管連盟としての体制整備・充実を進めて行きます。

#### (財務状況)

冒頭も申し上げたように、経済情勢を踏まえ、財源確保のため、執行部・理事会・専門委員会において積極的な議論検討を踏まえ、必要な諸施策を講じてまいります。

歴代の佐藤会長、高木会長から現在の白瀬会長に引き継がれた「Come Back 柔道連盟サポーター(賛助会員)」は毎年多くのご加入を頂き、大会にも多数ご来場いただき、その実をあげております。

#### (教育普及)

これまで成果を挙げて参りました海外研修事業に関しては、昨今の経済情勢を踏まえ、柔軟な対応が必要と考えております。コロナ禍もあり、これまで見合わせされてきましたが、国際人の育成を連盟全体に波及させていく事の目的を踏まえ、新たな事業の創出等、事業復活を検討してまいります。また、学生柔道の裾野を広げ、かつ技術的な向上を目的として事業化しております、「柔道出前講座」は、加盟校からも大変好評を得ております。さらに、社会貢献・奉仕の心を養うために、多年に渡り実施しております全国視覚障害者柔道大会の運営協力も行いました。

東京学生柔道連盟 理事長 網倉 大介

## 【東京(続き)】

今年度役員(任期は規約により2年)

会 長 白瀬 英春・東海大学  
副 会 長 大八木 諭・中央大学  
石原研二郎・東京大学  
森脇 保彦・国土舘大学  
渡邊 敏之・法政大学  
金野 潤・日本大学  
網倉 大介・日本大学  
名誉顧問 佐藤 宣践・東海大学  
顧 問 武内 政幸・大東文化大学  
理 事 長 網倉 大介・日本大学  
副理事長 西川 直好・法政大学  
廣瀬 伸良・順天堂大学  
青井 久幸・中央大学  
監 事 林 信男・東京大学  
池田 悦雄・法政大学  
事務局長 甲斐 隆文・日本大学  
事務局次長 小林祥太郎・日本体育大学  
総務事業委員長 瀧本 大成・慶應義塾大学  
総務事業副委員長 穴井さやか・帝京大学  
渡辺 崇・日本体育大学  
財 務 委 員 長 青井 久幸・中央大学  
普及・競技委員長 佐藤伸一郎・拓殖大学  
普及副委員長 普及担当 高橋 歩・専修大学  
普及副委員長 競技担当 上水研一郎・東海大学  
普及副委員長 普及・競技担当 佐藤 愛子・東京女子体育大学  
学生統括委員長 細田 明・日本体育大学  
学生統括副委員長 寺下 浩陽・日本大学

学生役員より

私たち東京学生柔道連盟は、4年生1名、3年生2名、2年生4名、1年生1名の計8名の学生が大学の代表であるという自覚を持ち、学業との両立を図りながら、日々活動を行っております。

今年度は2024パリオリンピック・パラリンピックが開催される年であり学生柔道界でもこの波に乗っていきけるよう尽力してまいります。

新しい取り組みの一環として今年度から全日本学生柔道優勝大会(団体戦)において大学混合チームを編成し、学連選抜チームとして出場しました。一回戦で敗退したものの今後の学生柔道界に新しい風を持ってきてくれましたと確信しております。また、今年の12月には新しく三重県四日市市総合体育館にてYAWARA Challenge Tournament大会(全国女子オープン大会)を開催致します。こちらは毎年2月に行われます男子のWinter Challenge Tournament大会の女子大会になります。

今年はこのように新しい取り組みが多くありますがこれまでの運営経験を十分に活用し、より一層素晴らしい学生大会を作り上げられるよう学生委員一丸となって精一杯準備を進めてまいります。

各地区学生柔道連盟並びに関係者の皆様には今後一層のご理解、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

東京学生柔道連盟 学生委員長 野原 天虎

## 【東海】

東海学生柔道連盟は竹内会長を中心とし、理事長の佐藤武尊と副理事長の久野高裕および三宅恵介の役員を含む体制により、組織体制の改革や大会運営方法の見直し、新たな事業展開などを見据えて、東海学生柔道の活性化を目指して改善を進めています。若手役員を中心とし、東海地区学生柔道の更なる発展と活発な組織の永続性を意識して、引き続き尽力していきたいと思えます。

今年度は、昨年度の各全日本大会の結果を上回る成果を東海学連として示していけたらと思えます。その為には、各チームの組織力や競技力の向上はもちろんのこと、東海学連の中で鎬を削り、切磋琢磨し、互いに高め合っていけるような環境や状況を学連として準備していかななくてはならないと感じています。今年度、すでに東海学生柔道連盟主催の合同練習会（4月13日）が開催され、230名の参加がありました。当日の稽古内容は、ハイレベルクラスとミドルクラス、アマチュアクラスに競技レベル別に分類して行い、その稽古内容は素晴らしいものでした。また、学生柔道連盟として、フランス（ボルドー）よりお越しいただいたミシェル・ブルス先生の「柔道の安全指導」に関する講演会にも参加しました。今後、何らかのかたちで柔道に携わるものや、指導者になる可能性が高いものを包括する当連盟としては、本講演会参加は大変意義深いものであったと感じています。

このように、東海学生柔道連盟では、コロナ禍を乗り越えた今、東海学生柔道連盟主催の合同合宿や練習会、講習会などを積極的に開催し、一枚岩となって全体的な力を付けていき、より魅力のある連盟に昇華することができるように様々な思案をしています。引き続き、東海学生柔道連盟に対するご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

### 1. 役員

会 長	竹内 外夫 (中京大学名誉教授)
副 会 長	松本 秀彦 (至学館大学准教授)
理 事 長	佐藤 武尊 (皇學館大学准教授)
副理事長	久野 高裕 (愛知大学職員)
副理事長	三宅 恵介 (中京大学准教授)
事務局長	福井 博泰 (名城大学職員)
事務次長	早川 太啓 (中京大学実技嘱託講師)
事務次長	松田 悠佑 (皇學館大学職員)
監 事	柴田 光徳 (元愛知学院大学職員)
監 事	小林 秀明 (名古屋商科大学OB)
学生委員長	大藪 太郎 (愛知大学)
学生副委員長	川邊 朝暉 (愛知大学)
学生副委員長	竹内 悠真 (名城大学)
事務局補佐	竹内 悠真 (名城大学)

### 2. 開催行事

5月19日(日) 於：愛知県武道館

第71回 東海学生柔道夏季優勝大会

第31回 東海学生女子柔道優勝大会

8月25日(日) 於：愛知県武道館

第43回 東海学生柔道体重別選手権大会

第41回 東海学生女子柔道体重別選手権大会

### 3. 昨年度大会結果 (団体優勝校)

第70回 東海学生柔道夏季優勝大会

男子7人制 愛知大学 男子5人制 星城大学

第30回 東海学生女子柔道夏季優勝大会

女子3人制 至学館大学

### 4. 学生委員長 (愛知大学4年生 大藪太郎) のことば

今年度、東海学生柔道連盟の学生委員長を務めさせていただきます愛知大学4年の大藪太郎と申します。

昨年度は、学生副委員長として大会運営に関わり、竹内会長をはじめとした常任理事の先生方や、多くの関係者のおかげで大会を成功裏に終わらせることができました。今までは選手として大会に出場するだけでしたが、大会運営に携わることで大会の企画から終了後の作業までを担う方々の大変さや重要さに気づきました。今年度も昨年度の経験を活かし無事に大会を運営していけるよう取り組んでいきたいと思えます。

学生の代表である学生委員長という立場を自覚し、関係する方への感謝の気持ちを忘れずに精一杯取り組みますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

東海学生柔道連盟 理事長 佐藤 武尊

## 【北信越】

<北信越学生柔道連盟役員>

会 長 牧 泰二  
副 会 長 阿部高弘・上田重隆・大柿 実・松永大吾・  
藤田真郎・玉田善明・紐野義昭・野本正人・  
青木 恵・武田秀則・諏訪部仁・大島公一  
理 事 長 南谷直利  
副理事長 渡辺直勇(兼事務局長)  
常任理事 渡辺涼子・鈴木貴士(会計)・川端健司・  
桐生 拓・宮本 晃・林 俊伍・星野 力・  
近間陽介

<2024年度大会予定>

5月19日 2024年度北信越学生柔道優勝大会(男子73回・  
女子33回)  
(県営富山武道館)  
8月31日 2024年度北國杯北信越学生柔道体重別選手権大会  
(男子43回・女子36回)  
(石川県立武道館)  
9月1日 2024年度北信越学生柔道体重別団体優勝大会(第  
26回)  
(石川県立武道館)  
11月 2024年度全日本学生柔道形競技大会(第3回)  
~12月 (オンデマンド開催)  
11月16日 2024年度湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会  
~17日 (第21回) 男子個人戦  
(白山市松任総合運動公園啓武館)

<その他行事予定>

5月18日 北信越学生柔道連盟常任理事会(第1回)・役員総会  
(県営富山武道館会議室)  
8月30日 北信越学生柔道連盟常任理事会(第2回)  
(石川県立武道館会議室)  
2025年  
2月 北信越学生柔道連盟海外研修  
(未定) (シンガポール遠征を予定)  
2月22日 北信越学生柔道連盟常任理事会(第3回)  
(金沢市)

※常任理事会後に情報交換会・懇親会を年度計1~2回程度、  
適切に開催予定。

2024年度湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会は、男子  
個人戦で実施予定である。女子大会は2025年度で開催日程  
を男子個人戦と分けて、新規開催(小松市)を予定する。また、  
2024年度北信越学生柔道連盟海外研修をシンガポール遠征  
で計画している。加えて、本連盟は2024年度全日本学生柔  
道形競技大会(第3回)の主管を務める。

北信越学生柔道連盟 事務局

## 【関西】

本連盟では近藤徹会長の退任に伴い、今年度より佐々木  
裕二新会長の体制のもと、より円滑な大会運営、組織の運  
営・活性化に学生幹事を中心に業務に取り組んでおります。  
また、今年度の各大会運営においても、OB・OGを含めた  
「チーム関西」として取り組み、関西学生柔道優勝大会(2024  
年5月26日)、関西学生柔道体重別選手権大会(2024年8  
月18日)の両大会を主催として、また全日本学生柔道体重  
別団体優勝大会(2024年10月19・20日)を主管として、  
それぞれの大会を無事に開催することができました。これ  
は、チーム関西としての協力体制や、大会運営において関  
係各位からのご理解とご協力の賜物であり、この場を借り  
て心より感謝申し上げます。毎年のように、大会運営にお  
けるさまざまな課題が散見されますが、それらを地道に解  
決することが連盟全体の知的財産と経験、そして地力につ  
ながるものと考え、今後も活動を継続してまいります。

また、本連盟の活動は大会運営に加え、今年度も国際交  
流として、8月27日~8月31日にかけて、本連盟から選抜  
された学生25名と役員5名で韓国・釜山に海外遠征を実  
施しました。5日間の日程で実施された遠征では、参加し  
た学生の異文化理解や教育、交流を目的として、東儀大学  
(釜山)で稽古やトレーニングを行いました。その遠征を  
通じて、学生は帰国後の学生生活や卒業後の社会人として  
の生活に活かすことのできる多様な経験を蓄積することが  
できたものと思われまます。

以上の本連盟の活動は、決して自らの組織だけで取り組  
んだことではなく、関係各位などのさまざまな方々のお力  
添えによって成立しているものと考え、連盟として感謝申  
上げますとともに、今後も継続したご指導をお願いした  
いと思っております。これこそ柔道の教育理念である「精  
力善用・自他共栄」であり、柔道実践だけでなく、連盟の  
活動を通して学ぶことができ、われわれ修行者にとっ  
て新しい時代においても必要不可欠な考え方ではないで  
しょうか。このことを肝に銘じ、これからも学生柔道がま  
すます発展するとともに、本連盟が社会を補益する人材を  
輩出する使命を担えるような取り組みを一九となつて目指  
したいと考えております。

関西学生柔道連盟 会 長 佐々木裕二  
副 会 長 正木 嘉美  
副 会 長 峯近 卓美  
理 事 長 岡田 龍司

## 【中国四国】

中国四国学生柔道連盟は、2024年5月14日に理事会、5月16日に総会を開催し、役員改選と2024年度の事業計画等を承認しました。

役員改選では、現会長の大谷崇正氏、副会長の出口達也氏と栗原昭広氏の2名を再任し、新たに理事長に矢野智彦氏を選任し、執行部が新体制となりました。

当連盟は、今後も矢野新理事長のもとに、海外研修や合同合宿も積極的に実施し、様々な取り組みを計画しながら、魅力ある連盟と発展していきたいと思っておりますので、引き続き、よろしくお願いたします。

(2024年度 中国四国学生柔道連盟 行事予定)

4月5日(金)

中国四国学生柔道連盟 定例幹事会 (ZOOM)

5月18日(土)~19日(日)

中国四国学生柔道優勝大会 (男子70回、女子31回)

[岡山県立岡山武道館]

7月5日(金)

中国四国学生柔道連盟 定例幹事会 (ZOOM)

8月24日(土)

中国四国学生柔道体重別選手権大会 (第43回)

[山口県立下関武道館]

中国四国学生女子柔道体重別選手権大会 (第40回)

[山口県立下関武道館]

8月25日(日)

中国四国学生柔道体重別団体優勝大会

(男子第26回、女子3回) [山口県立下関武道館]

2月中旬

中国四国学生柔道連盟 定例常任理事会

(日程未定、ZOOM)

中国四国学生柔道連盟 強化合宿 (日程・場所未定)

中国四国学生柔道連盟 事務局長 梶津 良仁

## 【九州】

九州学生柔道連盟では、先の定例総会におきまして、収支決算報告、行事予定、収支予算、役員改選、規約改正等が議題として審議・承認され、2024年度の行事予定および役員は以下のとおりとなりました。

また、九州学生柔道優勝大会の結果により、6月に開催される全日本学生柔道優勝大会には、男子5大学(福岡大学、日本文理大学、熊本学園大学、鹿屋体育大学、東海大学九州)、女子一部3大学(福岡大学、鹿屋体育大学、別府大学)、女子二部3大学(九州共立大学、東海大学九州、日本経済大学)が出場いたします。九州代表の各大学の選手の方々には、柔道・試合ができる喜びと大会関係者の方々のご協力への感謝の気持ちを忘れることなく、豊に上がっていただきたいと思っております。

当連盟も、加盟大学が一丸となって魅力ある連盟として発展していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。

### 【行事予定】

5月18日 定例総会

5月18日・19日 2024年度九州学生柔道優勝大会  
(男子72回、女子32回)

8月17日・18日 2024年度九州学生柔道体重別選手権大会  
(男子67回、女子37回)

### 【役員紹介】

名誉会長 藤田 弘 明

会 長 中 原 一

副会長 羽田野 節 夫

安河内 春 彦

清 水 克 巳

理 事 長 小 澤 雄 二

副理事長 坂 本 道 人

泉 麻 生

檜 崎 教 子

事務局長 飯 田 勝 弘

## 2024年度 全日本学生柔道

YAWARA Challenge  
Tournament

(第一回)

## 大会結果

会場：四日市市総合体育館

## 記

## 48kg級

優勝	畑山 凜	明治国際医療大学
準優勝	河口 璃香	明治国際医療大学
第三位	朝田 結衣	近畿大学
	城戸 珊瑚	国士舘大学

## 52kg級

優勝	横山 美幸	龍谷大学
準優勝	塩原 未々	山梨学院大学
第三位	岡元 優樹	帝京大学
	小池 優芽	仙台大学

## 57kg級

優勝	竹原 妃菜	明治国際医療大学
準優勝	小幡 心里	近畿大学
第三位	宇井 柚葵	龍谷大学
	高野 生芳	東海大学

## 63kg級

優勝	白金 未桜	筑波大学
準優勝	渡邊 菜月	国士舘大学
第三位	濱重 愛華	立命館大学
	高橋 宥良	東京女子体育大学

## 70kg級

優勝	森 静玖	東海大学
準優勝	大森 恵花	早稲田大学
第三位	関 桃未	福岡大学
	堺田 莉央	福岡大学

## 78kg級

優勝	飯田 星那	東京女子体育大学
準優勝	小林 茉央	龍谷大学
第三位	畠山 夢叶	国際武道大学
	林 弘華	帝京科学大学

## 78kg超級

優勝	山口ひかる	帝京大学
準優勝	瀬古 桃杏	日本大学
第三位	永里 紗凜	仙台大学
	佐藤 歩瑠	仙台大学

一般社団法人 全日本学生柔道連盟 (ALL JAPAN UNIVERSITY JUDO FEDERATION)

事務所 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館2階

TEL 03-3818-1587 FAX 03-3818-1960

E-mail:gakujuren@gakujuren.or.jp URL:http://www.gakujuren.or.jp